

教科	芸術	科目	美術 I	担当	
履修学年	1年	単位数	2	履修区分	普通科(選択 必履修)
教科書	高校生の美術1(日本文教出版)				
副教材等					

1 学習目標

幅広い制作活動を通し、美術体験を豊かにすること。美術の楽しさや創造することの喜びを味わい、表現と鑑賞の能力を伸ばすこと。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観念の趣旨
A	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
B	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
C	主体的に学習に取り組む態度	作品の「表現の工夫・意図」などを理解しようとし、そのよさや美しさを鑑賞している。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					A	B	C		
前期	4 5 5	絵画・鑑賞	描画と着彩	4コマ自己紹介 身近なものを描く	○	◎	○	A→基本的な画材の扱い方を理解し、制作意図に合わせて使い分けることができる。陰影や空間・水彩表現制作に関心を持ち、観察に取り組むことができる。 B→モチーフの構図配置を「空間における対象物」と考え設定することができる。 C→身近な対象の美しさに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。	ワークシート 制作過程 課題作品 鑑賞活動の記録
	6 5 8	デザイン	ポスター制作	「選挙」をテーマにしたポスター制作	◎	◎	○	A→目的に応じて、効果的な表現方法を創意工夫し、画材を正しく扱って制作している。テーマをもとに、伝えたいことを文字・絵で画面構成することができる。 B→テーマに対して情報収集し、自らが伝えることに関心をもって取り組む。 C→作者の意図・表現の工夫などを感じ取ろうとし、鑑賞によって理解を深めようとしている。	ワークシート 制作過程 課題作品 鑑賞活動の記録
前期末考査									
後期	9 5 11	彫刻	木彫制作	「にほし」をモチーフとした木彫制作	◎	◎	○	A→彫刻刀の使い分けによる表現の違いを理解し、対象の「らしさ」を表す目的をもって取り組むことができる。 B→観察を中心に、見通しを持ちながら制作を進めることができる。 C→立体の良さや美しさを味わおうとすることができる。対象を多面的な視点で観察し、立体に関心をもって取り組んでいる。	ワークシート 制作過程 課題作品 鑑賞活動の記録
	11 5 2	デザイン	模型制作	「座るひと」のことを考えた椅子制作	◎	○	◎	A→扱う素材と道具の特性を理解し、アイデアが効果的に表せるよう扱うことができる。 B→デザインの目的や用途を理解し、テーマを設定し試行錯誤して制作することができる。 C→自他の作品や参考資料から、美しさ・機能を感じ取り味わおうとすることができる。普段の生活に関心を持ち、主体的に機能と美しさをもとめて制作することができる。	ワークシート 制作過程 課題作品 鑑賞活動の記録
後期末考査									

4 評定の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
A		30		30
B		40		40
C		30		30
計	0	100	0	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

「制作した作品」はもちろん、「制作過程の取り組み」「出席数」も評価します。主体的に取り組んでください。